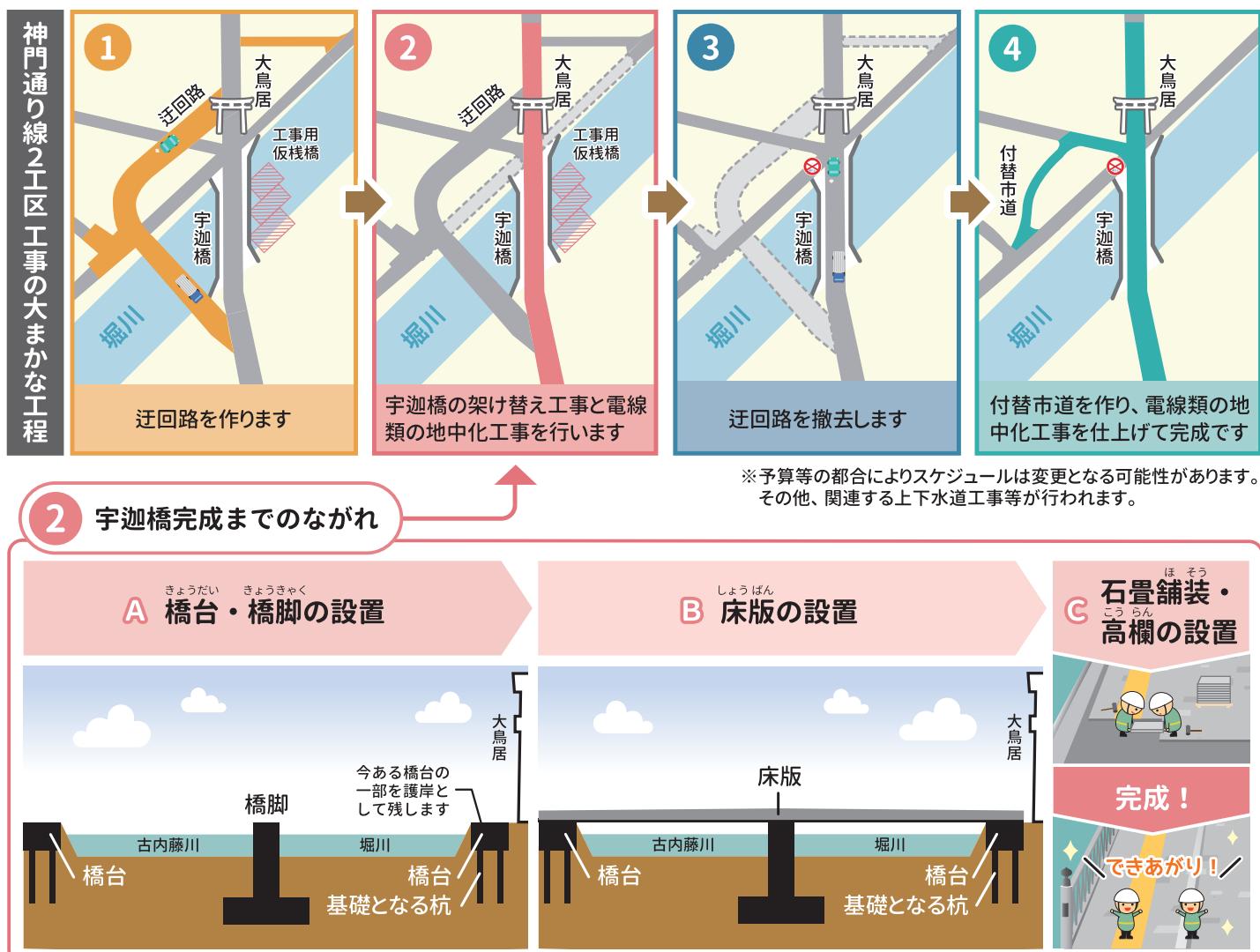


宇迦橋架け替え工事のスケジュール変更のお知らせ

神門通り線2工区では、宇迦橋の老朽化に伴う架け替え工事を進めています。

令和4年春から着手していた橋脚の設置工事において、追加の現地調査を行い、安全で確実な施工ができるよう工事期間を延長することとなりました。それに伴い、**宇迦橋は令和7年度中に完成予定**となります。完成までの全体スケジュールは、下の図表をご覧ください。

長期間にわたりご不便とご迷惑をおかけしておりますが、1日でも早い完成を目指し、安全・安心に努めて工事を進めますので、ご理解とご協力のほどよろしくお願いします。



スケジュール	R5年度	R6年度	R7年度
A 橋台・橋脚の設置	②		
B 床版の設置		②	
C 石畳舗装・高欄の設置			②

電線共同溝の設置工事を開始します

令和6年1月から着手

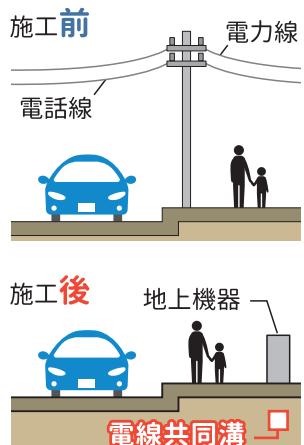


電線共同溝とは

電線共同溝とは、地上にある電柱や電線を地下に収容するための施設のことです。

神門通り線1工区と同様に、2工区でも電線類を地中化することで、すっきりとした美しい都市景観をつくります。

また、地震や台風、積雪等による電柱電線の倒壊や断線等を防ぎ、安全な道路を目指します。



電線共同溝の工事業者より

この度、島根県出雲県土整備事務所より電線類地中化に伴う電線共同溝を設置する工事を受注し施工することになりました。

交通規制での施工や重機・資機材の搬入・搬出など皆様方にはなにかとご不便・ご迷惑をお掛けするとは思いますが、安全安心に努めて工事を進めていきたいと思いますので、ご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

電線共同溝設置工事受注業者：株式会社 中筋組
工期：～令和6年6月7日（予定）

なかすじ



令和4年度から令和5年度の工事内容

大鳥居の補強工事

1915年（大正4年）につくられた大鳥居は、出雲大社の玄関口として来訪者を迎えてきました。

宇迦橋架け替え工事による影響が出ないように、令和4年春から柱の補強工事が行われ、より太く頑丈な柱になりました。



工事中
の大鳥居

工事後
の大鳥居

宇迦橋の橋台・橋脚の設置工事

令和4年春から令和5年冬にかけて、宇迦橋を支える橋台や橋脚の設置工事を進めていました。

令和6年春からは橋台・橋脚の上に、実際に人や車が通行する部分である床版をつくります。



工事前
の橋台・橋脚

工事中
の橋台・橋脚

出雲県土整備事務所 都市整備課からのメッセージ

皆さま、あけましておめでとうございます。

よろしく
お願いします！



昨年5月に、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行し、神門通りにぎわいも取り戻してきたところであり、今年は益々にぎやかになることを祈念しております。

さて、神門通り線2工区の工事状況ですが、昨年末に宇迦橋の橋脚が完成し、今年の春頃には上部工工事の着手を予定しています。また、橋梁工事と並行して出雲大社大鳥居周辺の電線共同溝工事を進めていく予定ですので、引き続き工事へのご理解、ご協力をよろしくお願いします。